

## 二〇一九年度中学入試出典一覧 【広島】

(『 』は出典の本のタイトル、「 」は作品名)

出題校	著者名・作品名	文種	字数	刊行年・出版社
広島学院	相良倫子 詩「生きる」(105行)と解説文	説明文	約2000字	オリジナル解説文
	辻村深月 『家族シアター』「1992年の秋空」	物語文	約3400字	'14 講談社
修道	今野真二 『大人になって困らない語い力の鍛え方』	説明文	約3200字	'17 河出書房新社
	小俣麦穂 『ピアノをきかせて』	物語文	約3700字	'18 講談社
広島城北	はらだみずき 『ここからはじまる父と息子のサッカーノート』	物語文	約2800字	'18 新潮文庫
	小林朋道 『ヒトの脳にはクセがある』	説明文	約2700字	'15 新潮選書
崇徳(前期)	原田マハ 『スイート・ホーム』	物語文	約2300字	'18 ポプラ社
	増本 元 『辞書の仕事』	説明文	約3000字	'13 岩波新書
ノートルダム清心	渡邊十絲子 『今を生きるための現代詩』	説明文	約2700字	'13 講談社現代新書
	西加奈子 『おまじない』「孫娘」	物語文	約4200字	'18 筑摩書房
広島女学院	内田 樹 『日本の覚醒のために』	説明文	約4800字	'17 晶文社
	新美南吉 「おじいさんのランプ」	物語文	約5100字	'82 偕成社文庫
安田女子	朝比奈蓉子 『わたしの苦手なあの子』	物語文	約2100字	'17 ポプラ社
	角野栄子 『ファンタジーが生まれるとき』	説明文	約1800字	'04 岩波ジュニア新書
比治山女子Ⅰ	岩田慶治 『からだ・こころ・たましい』	説明文	約2800字	'96 ポプラ社
比治山女子Ⅱ (広島駅前会場)	新美南吉 「牛をつないだ椿の木」	物語文	約2600字	'16 ハルキ文庫
比治山女子Ⅱ (呉会場)	俵 万智 『短歌をよむ』	随筆文	約2600字	'93 岩波新書
広島大学附属	松井智子 『子どものうそ、大人の皮肉』	説明文	約2700字	'13 岩波書店
	落合由佳 『流星と稲妻』	物語文	約3800字	'18 講談社
近大附広島(前期)	まはら三桃 『奮闘するたすく』	物語文	約2500字	'17 講談社
	稲垣栄洋 『面白くて眠れなくなる植物学』	説明文	約2000字	'16 P H P 研究所

広島なぎさ	小嶋陽太郎 『ぼくのとなりにきみ』 金子 勝 『歴史の読み方』 「答えはひとつしかないのか」 瀧本哲志 『ミライの授業』	物語文 説明文 説明文	約 2000 字 約 900 字 約 1100 字	'17 ポプラ社 '18 ちくまプリマー新書 '16 講談社
広島国際学院	斉藤 孝 『新聞力』 橋爪駿輝 『楽しかったよね』 菅野 仁 『友だち幻想』	説明文 説明文 説明文	約 2000 字 約 2300 字 約 900 字	'16 ちくまプリマー新書 '18 講談社 '08 ちくまプリマー新書
ひろしま協創(I)	中村桂子 『科学者が人間であること』 まはら三桃 『白をつなぐ』	説明文 物語文	約 2200 字 約 2200 字	'13 岩波新書 '15 小学館
ひろしま協創(II)	森 博嗣 『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』 岡田 潤 『子ども電車』	説明文 物語文	約 2000 字 約 3500 字	'13 新潮新書 '10 金の星社
山陽女学園(I)	「消費税 8%→10%へ」	報道文	約 800 字	ちゅーびー子ども新聞
AICJ(会場)	榎本博明 『正しさをゴリ押しする人』	説明文	約 2100 字	'17 角川新書
AICJ(本校1)	梨木香歩 『西の魔女が死んだ』	物語文	約 2000 字	'01 新潮文庫
AICJ(本校2)	松本仁一 「異文化の根っこ」	説明文	約 1400 字	第一学習社